

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R4決算額	交付金 充当額	効果
1	個人情報取扱台帳整備事業	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的として個人データを取り扱う機会が増加していることを踏まえ、オンライン等で保有する個人情報の外部への提供・活用に対応するため台帳整備等を行う。	R4.4.1	R5.3.31	2,035,000	2,015,000	当町で保有する公表すべき個人情報36件をオンライン等で活用するため整備し、新型コロナウイルス感染症流行下において適切に利用できる環境を整備することができた。
2	高度無線環境整備に係る無線局整備事業	未整備地区に、光ファイバ網を整備することで、これまで以上の利用分野の広がりが期待できる。テレワーク等在宅業務にも対応でき、人との接触機会が減少することで新型コロナウイルス感染防止も繋げることができる。光ファイバを利用する機会を増やす環境づくりを進めることによって、利用者の拡大を図る。	R4.9.29	R5.3.31	668,204	668,000	令和4年度に完了した高度無線環境整備事業において、全町で光ファイバーの利用が可能となった。今回、光ファイバー利用促進のため、無線ルーターを整備した69世帯に合計668,204円を助成し、新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも在宅等で業務ができる環境構築に寄与することができた。
3	感染症対策強化事業	感染症対策に必要な資機材等を整備し、地域内の感染症対策力をより強固なものにする。	R4.5.9	R4.12.23	440,000	390,000	新型コロナウイルス抗原検査キットを庁舎用に90個、小中高各学校用に200個購入し、新型コロナウイルス感染症対策を進めることができた。
4	ウェブ会議、リモート会議強化事業	新型コロナウイルス感染拡大下においてウェブ会議、リモート会議は必須であり、多数の会議に対応するための必要機材等を購入し、感染リスクの低減とともに安心安全な会議の構築に努める。	R4.4.14	R5.3.31	1,595,000	1,500,000	360度ウェブカメラ1台、WEB用液晶モニター及びテレビ台1台、ウェブ会議用パソコン10台を導入し、ウェブ会議システム「Zoom」を年間使用することで、出張を伴わない会議を構築することができ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。
5	地域公共交通維持・確保応援事業	新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えず、この長引く影響のなかで、地域公共交通を担う路線バスは通常運行するものの、利用者の利用回復が鈍く、高齢者の多い過疎地域では重要な交通手段であり、継続・維持等できるよう応援し、重要な路線バスの維持及び公共交通機関としての役割の確保を図る。	R4.12.6	R4.12.23	12,000,000	12,000,000	町内を運行する路線バス事業者である道北バス株式会社に12,000千円を助成したことで、新型コロナウイルス感染症流行による利用者数の大幅な減少の中でも、継続して運行することができた。
6	温泉保養・宿泊研修施設ワーケーション等対応整備事業	コロナ禍で今、注目されているワーケーションやテレワークを行う企業や宿泊者の仕事環境に対応するため、温泉保養・宿泊研修施設にWi-Fiを整備し、新たな客層の獲得に繋げる。	R4.7.26	R5.3.31	9,262,000	9,000,000	レークサイド桜岡温泉保養・宿泊研修施設にwi-fiを整備したことで、新型コロナウイルス感染症流行下においてワーケーションやテレワークの環境を構築することができた。
7	キャンプ場ワーケーション等対応整備事業	新型コロナウイルス感染が収まらない中、人混みを避けたキャンプやアウトドア人気が高まるなか、キャンプ等を行いながら仕事ができる環境を整備するため、キャンプ場内にWi-Fiを整備し、新たな客層の獲得に繋げる。	R4.7.26	R5.3.31	1,958,000	1,900,000	桜岡キャンプ場にwi-fiを整備したことで、新型コロナウイルス感染症流行下においてキャンプ場内でもワーケーションやテレワークが可能な環境が構築された。
8	地域農業生産力向上に係る農作業機械・機具購入等支援事業	基幹産業の農業は、高齢化とともに担い手不足が顕著に表れているなか、農業振興対策を進めることによって、一定の影響を抑えることができる。また、人との接触機会を減少させる新たなロボット技術等を取り入れることで、コロナ感染症の減少につなげ、担い手対策とともに、農業生産の向上等を図る。	R4.12.9	R4.12.28	3,894,000	3,800,000	継続的な担い手対策及び省力化を図ることを目的に、農作業機械(農業用ドローン、GPS付作業機、自動巻上機等)購入費用の一部を助成した。 ・農作業機械(農業用ドローン、GPS付作業機、自動巻上機等)購入費用助成 合計13名 助成合計 3,894千円
9	多貫流式ボイラー設備更新事業	利用者、利用団体の感染リスクの低減、かつ加工製品の衛生環境の保持を図る中で、コロナウイルス感染症終息後の加工製品づくりの促進とともに、これまで培った数少ない加工技術継承に寄与する。	R4.5.23	R4.9.13	3,190,000	3,000,000	地場産品加工研究センターに多貫流式ボイラー1台を導入し、新型コロナウイルス感染症収束後の施設利用促進につなげることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R4決算額	効果	
						交付金 充当額	
10	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策支援及び灯油等燃料費高騰の負担軽減支援事業	社会福祉施設及び事業所の新しい生活様式の整備に係る経費の一部を支援し、福祉施設等で一番懸念される新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を抑えるべく、利用者の安全安心な環境を確保するとともに、灯油等の燃料費高騰を受け、燃料費の一部を支援することにより、施設等の経営安定化を図る。	R4.6.21	R4.7.13	4,130,000	4,100,000	町内の福祉施設及び事業所合計5事業所に4,130千円を支援し、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び拡大に伴う燃料費高騰の一部を助成することができた。
11	高等学校オンライン学習事業	新型コロナウイルス感染症の影響により学校休業等の措置があった場合に、生徒の学習に遅れ等が生じないよう自宅でも遠隔授業が受けれるよう環境を整備する。	R4.8.17	R5.2.24	1,856,800	1,800,000	令和2年度に整備した高校生徒用タブレット28台を授業、また、在宅学習に活用するため、タブレットの設定変更を行った。また、持ち帰り用タブレットケース28台を購入したとともに、ポケットwi-fi5台の購入、更には高校wi-fi環境を強化したことで、新型コロナウイルス感染症流行下において、適切な学習環境を構築することができた。
12	高等学校施設感染防止対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として設備改修を進めることで、校舎及び寄宿舎の生徒及び教職員等の感染機会の軽減、感染リスクを低減を図る。	R4.5.23	R4.10.25	1,947,000	1,900,000	高校12カ所、寄宿舎8カ所、合計20カ所に手洗い自動水栓を取り付けすることができ、設置することができ、新型コロナウイルス感染拡大防止機能を整備することができた。
13	議会DX化推進事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大や長期的な蔓延により感染防止対策を講じた議会運営が必要であり、議会審議を停滞させないために、対面回数の減少に有効な議会タブレットを導入する。	R4.8.25	R5.3.31	6,140,057	6,000,000	議会タブレット(iPad Pro 12.9inch)30台及び通信に係る各種ソフトを導入し、議会内における人との接触費会の軽減につなげ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。
14	農業者支援対策助成事業	新型コロナウイルス感染症流行による世界経済の停滞後、2021年後半から徐々に世界経済が動き出すのに合わせ、燃料、肥料、飼料などの農業生産資材が世界需要の回復傾向を受けて価格が上がり続けていることから、生産資材高騰の影響を受ける農業者を支援するため、助成金を交付する。	R4.8.12	R4.10.13	12,150,000	12,000,000	町内水稲耕作者233件に水稲作付面積に応じた助成金総額12,150千円を助成したことで、新型コロナウイルス感染症流行下における燃料・肥料高騰の影響を受けた水稲耕作者の継続支援につなげることができた。
15	第三セクター温泉宿泊施設施設燃料費高騰負担軽減事業	町民の健康増進や保養・憩いの場として、また、地域経済の活性化、雇用の創出の役割を担う第三セクターに対して新型コロナウイルス感染症の影響による燃料費高騰による経費増の負担を軽減するため、助成金を交付する。	R4.10.19	R4.11.11	1,500,000	1,500,000	新型コロナウイルス感染症の影響により燃料費が高騰し、温泉部門を抱える株式会社レークサイド桜岡に対し、令和4年度と3年度の燃料費総額の差額である1,500千円を助成したことで、運営安定化・経営継続に寄与することができた。
16	子どものための臨時特別給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で食費等の物価高騰に直面する子育て課税世帯に対し、町内で利用できる商品券を配付することにより、負担軽減を図り、生活の支援を行う。	R4.9.6	R5.3.24	5,241,444	5,000,000	低所得世帯に対する子育て生活支援特別給付金給付事業対象者を除く対象者 高校生 2,400千円(30千円×80名) 中学生 1,000千円(20千円×50名) 小学生 870千円(10千円×87名) 幼児 790千円(10千円×79名) 新生児 130千円(10千円×13名) 合計 5,190千円を町内商品券で助成し、新型コロナウイルス感染症流行下における物価高騰が続くなか、子育て世帯の負担軽減に寄与することができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R4決算額	交付金 充当額	効果
17	学校給食等の保護者負担軽減事業	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で給食原材料の物価高騰による給食費負担増に伴い、子育て負担を軽減することで安心な給食提供に寄与する。	R4.4.6	R5.3.24	435,122	435,000	新型コロナウイルス感染症流行により、給食材料費が高騰した中で、小学校給食総数19,487食、中学校給食総数10,677食、高等学校給食総数10,112食に対し、物価指数、食材単価を乗じた合計金額435,122円を助成することで、子育て世帯の負担軽減に寄与することができた。
18	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育教育活動継続支援事業)	新型コロナウイルス感染症防止のため、小・中学校でルームエアコン、書籍消毒機等、また、高等学校・高等学校寄宿舎において空気清浄器・空気除菌器・アクリルパーテーションを購入することで、児童・生徒及び教職員の感染機会の削減、拡散の最小化を図る。	R4.4.22	R4.8.25	3,917,210	1,800,000	小学校に書籍除菌box1台、体育館網戸一式、保健室ルームエアコン1台、中学校に書籍除菌BOX1台、カラープリンター1台、保健室ルームエアコン1台、高等学校にアクリルパーテーション20台、空気清浄機13台を導入し、各学校における新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
19	高齢者世帯等生活支援事業	コロナ禍における原油価格や物価の高騰の影響が特に大きい低所得の高齢者及び障がい者世帯に対して、その影響緩和を目的として生活用品等の購入費用を助成する。また助成内容として町内商品券を交付することで、生活必需品等の購入による町外への外出を抑制し、感染リスクを軽減することができる。	R4.8.2	R5.1.13	3,868,531	1,900,000	町民税非課税の高齢者世帯及び障がい者世帯合計318世帯に対し、商品券12,000円分、合計3,816千円を支援したことで、新型コロナウイルス感染症における物価高騰対策の一助となることができた。
20	絵本の館施設新型コロナウイルス感染症予防対策備品購入事業	町の観光拠点及び子どもの居場所づくりの拠点である絵本の館に設置されている「たまごのへや(木の玉プール設置)」の新型コロナウイルス感染症予防対策として、来館者・利用者等の感染のない環境づくりを進め、安全安心な施設の利用とともに、感染機会の軽減を図る。	R4.10.16	R4.11.11	69,800	65,000	絵本の館たまごのへやに加湿空気清浄機1台を設置し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
21	町立学校(高等学校)修学旅行キャンセル料等補助事業	新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行を延期したことで発生する企画変更料を補助することで、保護者の経済的負担の軽減を図る。	R4.11.15	R4.12.13	70,506	70,000	高等学校が当初予定していた見学旅行が、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、日程変更・行先変更しなければならず、企画変更手数料70,506円(3,917円×18名)を補助したことで、保護者の負担軽減につなげることができた。
22	保育所感染拡大防止対策環境整備事業	保育所の新型コロナウイルス感染症予防対策として、32㎡の事務室に10人が勤務する過密状況の改善のため、各保育部屋にwi-fiを整備し、分散業務やオンライン研修を可能にすること、また、空調設備等感染対策が整ったホールでipad等を活用した魅力ある保育活動を推進する。	R4.10.25	R4.12.23	396,500	390,000	保育所にiPad2台(10.2inch)、プロジェクター1台、スクリーン1台、無線ルーター1台を導入し、新型コロナウイルス感染症流行下における保育所の分散業務を構築し、iPad等を活用した新たな保育活動を推進することができた。
23	庁舎新型コロナウイルス感染症予防対策備品購入事業	役場及び町民センターの新型コロナウイルス感染症予防対策として、来館者・利用者等の感染のない環境づくりを進め、安全安心な施設の利用とともに、感染機会の軽減を図る。	R4.10.17	R4.11.25	1,338,598	1,330,000	庁舎及び町民センターに非接触型検温装置2台、加湿空気清浄機2台を設置し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。
24	テレワーク(在宅ワーク)導入事業	テレワーク(在宅ワーク)環境を整備し、新型コロナウイルス感染機会の減少を図ることで、安全な職場環境を構築するとともに、DXを活用した新たな働き方を推進する。	R4.10.19	R5.3.31	1,056,000	1,050,000	NECネットエスアイが提供するリモートデスクトップfor LGWAN(10人同時に利用可能)を導入したことで、新型コロナウイルス感染症流行下における在宅ワークを可能とすることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R4決算額	交付金 充当額	効果
25	社会福祉施設等における物価高騰対策に係る支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、社会福祉施設及び事業所の電気・灯油・食料等の価格高騰を受け、燃料費等の一部を支援することにより、利用者の安心安全な環境を確保するとともに、施設等の運営安定化を図る。	R4.12.6	R4.12.23	4,200,000	4,200,000	町内の福祉施設及び事業所合計5事業所に4,130千円を支援し、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び拡大に伴う燃料高騰及び物価高騰の一部を助成することができた。
26	学童保育所デジタル環境整備事業	新型コロナウイルス感染症の影響から一人1台端末のGIGAスクール事業が始まった。町では小学生の放課後居場所づくりとして学童保育所を開設しているが、学童保育の場においてタブレット端末を活用する環境を整備することで、教育の場を拡充し、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。	R5.3.3	R5.3.31	180,610	150,000	学童保育所においてコロナ流行下における安心安全な放課後の居場所づくりを目的に、パソコン1台を導入、また、小学校で導入されたタブレット使用環境を構築するためインターネット環境を整備した。利用者誰もがコロナ禍で安心して利用できる環境が整備された。
27	剣淵町燃料高騰対策灯油等助成券配布事業(重点交付金)	新型コロナウイルス感染症流行下において原油価格の高騰に直面する生活者への家計負担の軽減を図ることを目的に、全世帯を対象に灯油等助成券を配布する。	R4.11.4	R5.3.13	11,422,102	9,813,000	対象世帯1,278世帯に町内で利用可能な燃料券15,000円を送付し、合計18,119千円の利用があった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う燃料高騰が著しい中、負担軽減につなげることができた。
28	剣淵町燃料高騰対策灯油等助成券配布事業(R3補正分)	新型コロナウイルス感染症流行下において原油価格の高騰に直面する生活者への家計負担の軽減を図ることを目的に、全世帯を対象に灯油等助成券を配布する。	R4.11.4	R5.3.13	630,000	630,000	対象世帯1,278世帯に町内で利用可能な燃料券15,000円を送付し、合計18,119千円の利用があった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う燃料高騰が著しい中、負担軽減につなげることができた。
29	剣淵町燃料高騰対策灯油等助成券配布事業(R4予備費分)	新型コロナウイルス感染症流行下において原油価格の高騰に直面する生活者への家計負担の軽減を図ることを目的に、全世帯を対象に灯油等助成券を配布する。	R4.11.4	R5.3.13	6,627,000	6,627,000	対象世帯1,278世帯に町内で利用可能な燃料券15,000円を送付し、合計18,119千円の利用があった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う燃料高騰が著しい中、負担軽減につなげることができた。
30	水道料基本料金減免事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、物価高等の影響を受けている町民・または事業者の負担を軽減するため、4か月分(令和4年12月～令和5年3月)の水道料金の基本料金の減免、また、町の簡易水道対象外地域で構成する地区水道組合に対し、基本料減免に係る補助金を交付する。	R4.12.5	R5.3.31	7,384,146	7,300,000	<ul style="list-style-type: none"> 水道料の減免実績 12月 1,731円×972件=1,682,532円 1月 1,731円×965件=1,670,415円 2月 1,731円×962件=1,665,222円 3月 1,731円×960件=1,661,760円 3月随時 1,731円×2件+865円×11件=12,977円 水道供給事業助成金 10水道組合 合計 691,240円 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う物価高騰が著しい中、町民の負担軽減につなげることができた。
31	消防施設感染防止対策事業	現在、消防職員が救急支援活動後の消毒、洗浄のために利用するシャワー室、流し台が狭く、新型コロナウイルス感染症が発生した際には、消防職員全員への感染が危惧されるところである。施設の改修により、広い空間を確保することが可能となり、活動後の利用混雑を避け、新型コロナウイルス感染症の防止に繋げることができる。	R4.12.14	R5.3.24	2,200,000	2,200,000	消防署剣淵支署に広い空間を保つシャワー室、流し台、給湯器を設置し、災害の最前線で活動する消防職員の新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができた。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況について

北海道剣淵町

No	事業の名称	事業の内容	事業 始期	事業 終期	R4決算額	効果	
						交付金 充当額	
32	中小企業等燃油価格高騰対策支援給付金事業	町内で店舗・事務所等を有し、事業活動を行う商工業者等に対し、新型コロナウイルス感染症の影響による燃油価格高騰の影響緩和のため、支援給付金を交付する。	R5.1.27	R5.2.13	7,200,000	7,200,000	町内の中小企業に7,320千円(120千円×58事業者、60千円×6事業者)を助成し、新型コロナウイルス感染症流行下における燃料かっかう等が著しい中、経営安定に資することができた。
33	疾病予防対策事業費等補助金(特定感染症検査等事業(緊急風しん抗体検査等事業に限る)に限る)	新型コロナウイルス感染症に伴う受診控えの中、風しん予防のため、風しん抗体の低い世代(昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ)男性161名を対象に、無料で風しん抗体検査・予防接種を行う。	R4.4.5	R5.2.24	114,528	3,000	緊急風しん抗体検査、予防接種を実施し、抗体検査18件、予防接種2件の実績があった。新型コロナウイルス感染症流行の中、実績は少ないが、受診控えを抑えることができた。
34	子ども・子育て支援交付金(放課後児童クラブ等におけるICT化推進事業を除く)	新型コロナウイルス感染症防止のため、石けん、ペーパータオル、消毒液等を購入することで、保育所、学童保育所利用者及び保育士の感染機会の削減、拡散の最小化を図る。	R4.4.1	R5.3.24	1,011,090	337,000	保育所(子育て支援センター、一時保育、包括支援センター含む)にピューラックス、マスク、ハンドタオル、抗原検査キット、手袋等、学童保育所にピューラックス、非接触体温計、ハンドタオル、モップ、手袋等を購入し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。
35	保育対策総合支援事業費補助金(保育環境改善等事業のうち新型コロナウイルス感染症対策支援事業に限る)	新型コロナウイルス感染症防止のため、石けん、ペーパータオル、手袋等を購入することで、保育所入所者及び保育士の感染機会の削減、拡散の最小化を図る。	R4.4.2	R5.3.24	405,816	203,000	保育所に感染症対策参考書、抗原検査キット、ピューラックス、ハンドタオル、ハイター、手袋、抗菌スリッパ、ペーパータオル等を購入し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることができた。
合計					120,535,064	112,276,000	